社協たより

第180号
2018.12.1
点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会　〒822-0034　直方市大字山部616-145
TEL 0949(23)2551　FAX 0949(23)2552
e-mail : nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp　HP : http://www.nogatashakyo.org/

将来の夢を考える

平成30年10月17日に、中泉小学校で14人の職業人が子どもたちと、職業や働く意義について語り合いました。ボランティア団体の直方キャリア教育研究会が、夢授業という名前で直方近隣の小中学校を訪問しています。

もくじ

●空き家問題 …… 2
●地域の輪（歌声喫茶）
情報の広場（第15回男性介護者のつどい・不登校・ひきこもり学習会）
図書室（私が誰かわかりますか） …… 3
●お知らせ（もちつき会開催・前号の訂正・おもちゃ図書館クリスマス会・生活困窮者緊急支援事業新規参加法人）
ご寄付 …… 4

kantera カンテラ

いろんな仕事

私の実家は、町工場をしており、私が子どもの頃は、主に炭坑の仕事をしていました。私は当時まだ小さかったのですが、納期に間に合わせる為に、父や工員さんたちが徹夜をして働いていたのを覚えています。

夫は、障害のある息子を小学校の頃から何度か職場に連れて行っていました。「お父さんは、ここで働いているんだよ。」という思いを伝えたかったからでした。昔は、親や周囲の人の仕事を見て仕事について知ったものです。

先日、中泉小学校で夢授業が行われ、5・6年生と様々な職種の人が、仕事内容ややりがいについて語り合いました。14人の職業人が待つ各ブースを生徒が回り、それぞれの仕事や将来について話していました。世の中にはたくさんの仕事があり、将来の職業について子どもが興味を持ち、「知る」「学ぶ」場になっていたと思います。

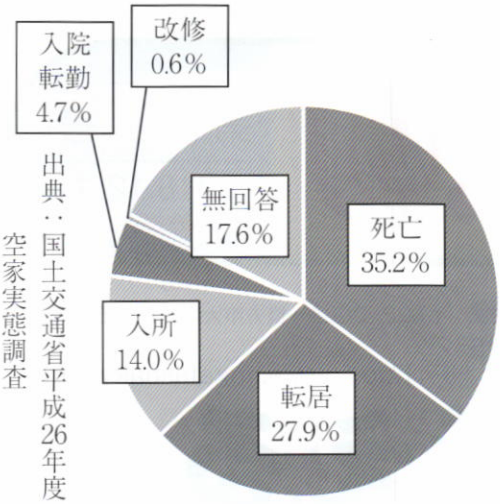
この「夢授業」に参加してくださったボランティアの人たちや関係者に感謝です。（田中）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

空き家問題を考える

～近所に空き家ありませんか？～

空き家になった理由



出典：国土交通省平成26年度空家実態調査

◎空き家問題とは

住む人や管理する人が居なくなり、荒れ果てていく家があります。そのような家は、建物の老朽化、防災防犯、景観や衛生などの問題を抱えています。

居住するために取得したわけではなく、相続で所有することになった住宅は、本来売却や賃貸、または居住以外の使い方などで活用することができます。しかし、「住宅が古く、売却が難しい」「親の思い出があるから売りたくない」などから住まないまま放置されると空き家になります。さらに、所有者が遠方に住んでいることや、高齢であることなどの理由から管理が行き届かない場合、住居の劣化が進み、より活用が難しくなるという負の連鎖が起きます。

総務省の平成25年度の調査によると、日本にある総住宅数は6063万戸で、その内空き家は820万戸となっており、実に総住宅数の13・5%が空き家ということになります。調査を開始した55年前の昭和38年頃の空き家数は52万戸で、その後毎年増え続けています。

◎生活支援コーディネーターに聞きました

空き家問題について、直方ではどのような状況があるのか、生活支援コーディネーター（地域で支え合って生きていく仕組みを作る人）の4人にお聞きしました。

直方でも空き家は徐々に問題化してきているとのことで、地域の組長会議などの場では、話題に上がったことが何度もあるとのことでした。

実際に直方で、空き家問題に悩んでいる人の話をお聞きしました。「空き家所有者の連絡先は分かるので連絡をするが、団地や地域の名前を言うと電話を切られる。自分たちは協力しようと思っていても、どうしようもない。」「空き家所有者は分かっているのだが、人間関係からなかなか言いづらい。」「空き家所有者が誰か分からず、連絡もできない。放置すると草が伸びてしまうので、近所の人で協力して草を刈っている。所有者が分からないので無断でやっている。」など事情は様々でした。

○生活支援コーディネーターへのインタビューを通して

空き家問題は近隣の人にとっても、当事者にとっても、大変複雑な問題だと話し合いをして感じました。

コーディネーターさんたちから空き家の近隣の人の話を聞きましたが、①雑草が茂るため、虫が湧いたり景観が悪くなる②庭木が自分の家にまで伸びたり、落ち葉が落ちてくる③傷んだ家の壁や屋根が台風等の影響ではがれ、自分の家が被害を受ける④不審者が入り込まないか心配など、様々な問題があることが分かりました。

また、空き家の持ち主の側も、①更地にすれば税が高くなり、家を壊すのも費用がかかる②家のままでは売れず、家は劣化していくなど、問題を抱えている場合があると知りました。住民の立場としては、空き家の持ち主に対して、理解できる部分はあると認めながらも、どこに訴えればよいのか分からず困っているとのことでした。

付加価値のない不動産に対する税の問題は国政の問題であり、地方行政は赤字財政で人口が減少し、過疎化が進んでいます。その中で、住みやすい特徴のあるまちづくりを進めるためにも、空き家対策は重要な課題だと考えます。

空き家という個人の資産について、どこまで行政や地域住民が関わる事ができるのか、改めて問題の複雑さを感じました。（石黒）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

地域の輪

地域に根ざした独自の福祉活動をご紹介します。

懐かしの青春歌謡　歌声喫茶

平成30年10月21日午後、ユメニティの会場入り口には大勢の来場客がチケットを手に列を作り、開場と同時に早足で目指す座席へ一目散。ドリンクセットを受け取り、開演を待つざわめきがホールを包んでいる。

いきなりバンドのリズムが流れ、歌唱リーダーの歌声が、満員の会場に「ちいさい秋みつけた♪」のメロディーとともに響き渡る。会場は徐々にテンションアップ。歌声に酔いしれ、懐かしい青春の復活に、上気した顔がホールを埋め尽くしている。

平成13年、地域文化の発信拠点として建設された「公益財団法人直方文化青少年協会・ユメニティのおがた」。併せて、来館者の案内・サービスを活動とする「サポーター」のボランティアを公募し、第1期生が誕生した。感動のお手伝い役に徹した10数名のメンバーが毎回の各種公演・催事の来場者サポートを続けている。

「平成20年に、サポーターの自主企画・主催で、懐かしの歌声喫茶を立ち上げ、毎回地域の皆さんと喜びと感動を分かち合って、いつの間にか19回を重ねました。」と、実行委員長でバンドマスターの棟形さんは、微笑みながら、嬉しそうに話された。（広田）

情報の広場

第15回 男性介護者のつどい

男性介護者同士が、同じ立場で話しをすることで、今日を生きる力を共有する場をつくるために、今年度2回目となる男性介護者のつどいを開催します。

みずほ内科・歯科クリニックの認知症サポート医、輪田順一副院長を交えて、日常生活の悩みなどを意見交換します。

●日時
平成30年12月8日（土）
10時～12時

●会場
直方市総合福祉センター
（山部616－145）

●対象
男性介護者の方
（奥様やご両親などを介護している方、もしくはその経験をされた方）

●参加費　100円

●共催
認知症の人と家族の会直方

●問い合わせ
直方市社会福祉協議会

不登校・ひきこもり学習会

学校に行かない子どもを支える会では、「ひとりではないと気づいて…」をテーマに、学習会を開催します。当日は、北九州ひきこもり地域支援センターより、ひきこもり経験者・当事者の家族・ひきこもり支援コーディネーターをお招きして、お話しをしていただきます。

●日時
平成30年12月8日（土）
13時30分～15時30分

●会場
直方市総合福祉センター
（山部616－145）

●対象
関心のある方、ひきこもり経験者、悩みを抱えている方

●参加費　無料

●主催
学校に行かない子どもを支える会

●問い合わせ
直方市社会福祉協議会

図書室

「私が誰かわかりますか」

著　者　谷川　直子
発行所　朝日新聞出版

地方の村落共同体で、いまだ機能し続ける「世間」。ここでは、個人は個人として振る舞うことは決して許されず、共同体の構成員は役割に相応しい振る舞いが半ば強制されている。

アルツハイマー病の夫を3年老老介護した義理の母がついに白旗をあげた時、「長男だからおやじを引き取るべきだ。ホームに入れたら世間がなんと言うか。」と、夫に言われ桃子は悩む。介護の押し付け合い、グループホーム入所後のケア、入院先での付き添い、老健施設への移行。何が正解か分からないまま、仕方なく介護を続ける桃子の前に必ず世間体が姿を現す。

「寂しがることなく最後を迎えることに繋がった。世間の目があったからなんです。」義父の死後、励ましてくれたのも「世間」の人々だった。（広田）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

もちつき会を開催します

直方市社会福祉協議会では、誰でも参加できるもちつき会を開催します。
皆様のご参加お待ちしています。

■日時　平成30年12月16日（日）
9時～13時
■会場　直方市総合福祉センター駐車場
（直方市山部616－145）
■参加費　無料
■お問い合わせ　直方市社会福祉協議会

おもちゃ図書館のおがた クリスマス会を開催します

おもちゃ図書館のおがたでは、みんなで遊んで、歌えるクリスマス会を開催します。
ぜひお子さんと一緒に遊びにきてください。

■日時　平成30年12月15日（土）
10時～12時ごろまで
■会場　直方市総合福祉センター　2階集会室
（直方市山部616－145）
■参加費　無料
■主催　おもちゃ図書館のおがたスタッフ会
■お問い合わせ　直方市社会福祉協議会

お詫びと訂正

前号（社協だより179号）に掲載しました、生活困窮者緊急支援事業市内参加社会福祉法人一覧表において、「軽費老人ホーム丹頂園」を「経費老人ホーム丹頂園」と掲載しておりました。
紙面をもって訂正し、お詫び申し上げます。

生活困窮者緊急支援事業 新規参加法人

前号（社協だより179号）に掲載しました、生活困窮者緊急支援事業に、新規で参加いただいた法人がありましたので、お知らせいたします。

法人名	主な事業所名
社会福祉法人 つくも会	ケアハウス百寿の里
宗教法人 西徳寺	西徳寺保育園
財団法人 直方市福祉会	直方市立中央保育園

ご寄付ありがとうございます。

平成30年8月11日～平成30年11月10日
11件　合計金額　271,340円
（お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略）

香典返し寄付金

- 感田（故）浅川スヱ子
- 新町　貝嶋　積
- 津田町　堤　昌子
- 永満寺　三海　栄司
- 須崎町（故）前野　春雄
- 中泉　岡林　隆充
- 中泉　渡邉　幸子
- 植木（故）香田　友吉
- 植木（故）香田　弘実

一般寄付金

- 医療法人　健明会
- 直方市民生委員　児童委員協議会
- 高橋内科クリニック　腎友会

編集後記

私たちの代表者を選ぶために、来年の春には、直方市長と市議会議員、福岡県知事と県議会議員、7月には参院議員と、次々に大切な選挙が控えています。
今まで、さまざまな事情により投票を棄権していた障害者や介護保険要介護5等の方は、「郵便等による不在者投票」の制度を利用して（本人記載および代理記載にて）、自宅から郵便投票ができます。※利用するには直方市庁舎内の市選挙管理委員会にて、事前の登録が必要です。
私もよく考えて、その制度を活用して一票を投じたいと思います。
（藤田）

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。

ご存知ですか？　直方市総合福祉センターでは、会議室等の貸し出しを行っています。　詳細等お気軽にどうぞ。　TEL0949(24)9030